

次期も
トライ!!
まゆみが
ゆく
連載
第62回
経験を生かして
これからもがんばりますの巻

7期目には、質問して
きた洋上風力発電の
台座がみえてきました。

子ども基本条例
検討メンバー
策定
などなど

やりたいことまだ
あります
まちづくり
に
人
に
やさしく
便利に
活用
する
気
を
く
ま
り
ま
す

北九州の未来のため
に
経験を生かして
これからも
がんばります!!

みやけ
三宅まゆみの
プロフィール
PROFILE
若松区選出・61歳

生年月日：昭和38年(1963)7月1日生まれ
星座：かに座 血液型：A型
家族：夫(元県議会議員 野村陽一)、
一男(19才大学生)
趣味：自然に触れる事、食に関する事
好きな言葉：一生感動 一生勉強
学歴：県立若松高等学校卒業、長崎ウエス
レヤン短期大学英語科卒業、北九州
市立大学法学部II部行政学科卒業、
九州大学大学院法府政治学専攻
(修士)修了
職歴：毎日新聞西部本社、アジア太平洋博
覧会勤務などを経て、北九州市議会
議員(平成9年より)現在に至る
所属：総務財政委員会(副委員長)



若松駅前が私の原点。
終始一貫このまちのために。

表紙の写真のように変わらず若松
駅前で約1時間朝の街頭活動をして
いると、11月後半からほぼ秋を感じ
る間もなく急に寒くなりました。

時々立ち話ですがご相談をいただいたり、要望書をお持ち頂
いたりします。またかわいい子どもさんや同級生他さまざまに
毎朝手を振って行って下さったり、反応やお声がけを頂くと寒
くても心がほっこりします。本当に感謝です。

初挑戦の時、自分自身を試す為に朝若松駅前のとらやさんの
前に足がガクガクしながら立った時の事をつい昨日の事よう
に思いますが、本市ではまだ誰も朝の街頭活動などしていなかつ
た為、ずいぶん変な人だとうわさがひろがったようです。

初心を忘れない為にも、今でも頑張っています。30年以上前
の赤いコートを引っ張り出し、恥ずかしながらもせめて明るく
見えるようにと努めています。どうぞ市政に関するご要望やご
意見もその場でも伺っております。もちろん事務所でも承ります
のでご遠慮なくお声掛けください。

子ども基本条例の検討メンバーとして条例策定12月議会で
可決しました



皆さんのお声を聴かせて下さい。

サークルや小人数でのお茶飲み会、飲み会など
皆様の市政に関する様々なお声をお聞かせいただける場があればご連
絡下さい。もちろん事務所にお越しいただいても結構です。
何卒よろしく願い致します。

市政に関するご相談は
下記の三宅まゆみ事務所までお気軽にご連絡下さい

三宅まゆみ 事務所

〒808-0063 若松区和田町16-4
Tel 093-751-8206 Fax 093-752-0787
E-mail mayu1717@bronze.ocn.ne.jp
<http://www.mayumi-arigato.jp/>



北九州市議会 ハートフル北九州

〒803-0813 北九州市小倉北区城内1-1 Tel 093-582-2658 Fax 093-582-4867

北九州市議会



ハートフル北九州

市議会
議員

三宅まゆみの
みやけ
ニュースレター

No.77
WINTER
2024

Mayumi
Miyake's
NEWS LETTER

市議会議員 三宅まゆみのニュースレター ●2024年冬号[通算77号] ●2024年12月16日発行 ●発行人・編集人:三宅まゆみ

若松新時代へ。新しい年が皆様にとって 素晴らしい年になりますように。

今任期も残りわずかとなりました。皆様には大変お世話になりましたありがとうございます。

今年は11月半ばまでコートなしで外出できるほど暖かい日が続き、また大雨や集中豪雨など
地球温暖化が進んでいることを身をもって感じるようになってきました。

私たちが日常で取り組める温暖化対策として、家庭での省エネ、水を大切に使う、公共交通機
関を使う、マイバッグ、植物を育てるなど
意識して取り組む必要があるのではないで
しょうか。私もこれまでさまざまな環境問
題に取り組んだり、夏の危険な暑さ対策や
大雨の時に、所によって床上浸水になっ
てしまっていた若松東部の雨水対策に力を入
れて取り組んで参りました。これからもこ
れらの環境問題や安心安全の問題に更に取り
組んでいきたいと思えます。また前号で
もお伝えしましたように若松区はこれまで
の取り組みが功を奏して洋上風力発電や北
海岸の観光化企業誘致など今大きく飛躍し
ようとしています。若松新時代を揺るぎな
いものにするためにも、また誰一人取り残
さない、もっと人に優しいまちづくりのため
にもこれまでの経験を活かして頑張っ
て参ります。引き続きご指導ご支援賜り
ますようよろしくお願い致します。

最後になりましたが新しい年が皆様にと
って素晴らしい年になりますよう心よ
り祈念申し上げます。



初挑戦の時からこの場所で朝の街頭活動を行っています。

◎このニュースレターは、市議会各派に交付される政務活動費を用いて作成しています。 ◎この印刷物は再生紙を使用しています。
◎重複して送付されたり、宛名変更などがある場合は、お手数ですが三宅まゆみ事務所までご一報ください。



今任期中最後の議会は12月3日から11日まで行われました。今回も本会議の一般質問を行いました。以下のような項目と主な内容です。



左のQRコードから質問内容をご覧ください。

令和6年12月定例会
12月6日 一般質問

(紙面の関係で詳しくは議会のホームページをご覧ください、事務局までお問い合わせください。)



(一般質問)

12月議会

1 軽度認知障害について

認知症の前段階である軽度認知障害とは、記憶力の低下など症状があっても日常生活に支障が出ていない状態です。1年で約5から15%の人が認知症に移行する一方で、運動や食生活の改善など適切な取組みにより、1年で約16から41%の人は健常な状態になる可能性があり、軽度認知障害のサインや症状に早期に気づくことに加え、治療法があることなど正しい知識を持つことが重要です。症状がみられたときは、早期に受診し、適切な治療やサポートを受けることも有効です。認知症予防に関する啓発が欠かせないこと。

また認知症サポーター養成講座だけでなく、軽度認知障害の当事者や家族向けの少しでも回復するための取り組みやすい講座なども必要ではないか尋ねました。

2 環境未来都市について

1) 市民環境力の更なる強化について

北九州市がこれからも環境政策をリードするためには、市民環境力を高めていくことが重要です。このような中、環境局が全戸配布していた総合環境情報誌「ていたんプレス」が廃止され、毎年開催していた西日本最大級の環境イベントである「エコライフステージ」も来年度は見直しされるとのこと。市民が環境意識を持つきっかけとなる取り組みがなくなりこれまで培ってきた市民環境力が弱まるのではないかと、市民環境力を高めるために、今後どのような取り組みをしていくのか尋ねました。

2) 生物多様性戦略について

ア) 若松の響灘地区は、日本列島を縦断する鳥の渡りコースにあたり石峰山から響灘安瀬緑地につながる線上において、道路沿線に約10mの幅をもつ緑地帯を設け、そのなかでは相対的に独立した生態系が生まれるように多様な樹木等の植栽を行い、「緑の回廊」づくりを行っています。

本市でバードフェスティバルを開催するなど、「鳥」をキーワードとして生物多様性について発信してはどうか？

イ) 「緑の回廊」は、樹木が生い茂り、渡り鳥が羽をやすめる憩いの場となっていますが、雑草も生い茂っており、見栄えが良くない。市民と「緑の回廊」を維持し、育てる取り組みが必要ではないか尋ねました。

3 学習以外の有効なタブレットの活用について

(1) 非認知能力、いわゆる学力検査などで測定される認知能力(IQ 学力以外の、自己制御力、忍耐力、共感性、協調性、自己肯定感など人間的・社会的なスキルは、児童生徒の将来的な幸福や成功について重要な役割を果たすとされています。そこで非認知能力を知るためのプログラムをタブレットでチェックでき、児童生徒本人や保護者がその子の状況を把握し、能力を高める取り組みが家庭でも行うことができる仕組みを作ってはどうか？

(2) 大切な子どもたちの命を救うためにも自殺予防教育は重要です。さらに本人の今の状況を図るための自殺防止のためのアプリの導入を検討してはどうか尋ねました。

7期目の質問項目(委員会質問はのぞく)

令和3年2月定例会 3月4日 代表質疑

- 1 新型コロナウイルス感染症拡大防止と支援策について
- 2 令和3年度予算について
- 3 SDGs未来都市について
- 4 グリーン成長戦略と経済施策について
- 5 デジタル市役所推進事業について
- 6 文化スポーツの振興について
- 7 子育て支援について(西部地区の子育て拠点)
- 8 教育について(特別支援教育について)
- 9 お出かけ交通支援事業について



令和3年9月定例会 9月10日 一般質問

- 1 新型コロナ対策について
- 2 ハラスメント防止について
- 3 ネット・ゲーム依存対策について
- 4 子育て支援について(出産祝い品について)
- 5 本市の教育のあり方について(多様性の理解を)
- 6 若松区におけるサル被害について



令和3年12月定例会 12月7日 一般質問 市長提案理由説明

- 1 発達障害児の早期発見、療育と様々な困りごとを抱える子どもたちを社会全体で支えるための啓発について
- 2 安心できる子どもの居場所を広げるための組織について
- 3 北九州市立高等学校の校舎の建て替えと早急なトイレの改善について
- 4 若戸大橋の国の重要文化財への指定記念イベントについて



令和4年2月定例会 2月25日 代表質疑

- 1 新型コロナ対策について
- 2 令和4年度当初予算案を踏まえた財政運営について
- 3 SDGs未来都市における企業等の成長支援について
- 4 本市におけるDX推進の取り組みについて
- 5 市街化区域から市街化調整区域への区分の見直しについて
- 6 若戸大橋重要文化財指定・開通60周年記念事業と市制60周年事業について
- 7 子育て支援について(プレイパークについて)
- 8 教育について(心の回復力を育てる教育について)



令和4年6月定例会 6月13日 一般質問

- 1 ロシアのウクライナ侵襲における本市への影響について
- 2 PCB処理2年延長の受け入れに当たって安全性の確認と地域振興について
- 3 カーボンニュートラル(脱炭素)社会に向けた電気自動車の普及と課題について
- 4 一般家庭向け省エネ家電普及促進事業について
- 5 子育て支援について
 - ①子ども基本条例と常設のプレイパーク(居場所)の必要性について
 - ②保育所と認定こども園の紙おむつ等の支援について
- 6 農福連携とユニバーサル農業の推進について
- 7 鳥獣対策について
 - ①アライグマ対策について
 - ②捕獲活動経費について



令和4年9月定例会 9月14日 一般質問

- 1 若松区のまちづくりについて(若松体育館の空調について他)
- 2 ふるさと納税を活用した官民連携による協働社会づくりについて
- 3 多様な働き方ができ市民に開かれた市役所や区役所のあり方について



令和4年12月定例会 12月9日 一般質問

- 1 北九州市自慢について
- 2 子育て支援について(これまでの取組みについて)
- 3 特別支援学級の新設について
- 4 危機管理体制について



令和5年6月定例会 6月13日 一般質疑

- 1 本市の市民所得向上と企業の人手不足対策について
- 2 子育て支援と教育について
 - ①育休明け保育100%のまちへ
 - ②保育士不足対策について
 - ③性暴力・性的虐待から子どもを守るための教育と支援について
 - ④不登校特別校の設置について
- 3 女性人材バンクの設置について
- 4 エレベーターのない市営住宅の高層階の活用について
- 5 若松区のまちづくりについて



令和5年9月定例会 9月8日 質疑・一般質問

- 1 2040年問題と本市の総合計画について
- 2 災害から市民を守り災害に強いまちをつくるために
- 3 若松エコタウン周辺の充実について
- 4 官民連携での市役所の建て替えと小倉の中心部の有効活用について



令和5年12月定例会 12月4日 一般質問

- 1 薬物乱用防止について
- 2 国際的なリーダーを育成するまちづくりと教育について
- 3 鳥獣対策について



令和6年2月定例会 2月29日 一般質疑

- 1 北九州PCB処理事業について
- 2 子育て子育て支援について
 - ①不適切な養育(マルトリートメント)について
 - ②発達障害、常設の子ども居場所 他



令和6年6月定例会 6月7日 一般質問

- 1 大規模スポーツ大会誘致を活かしたまちづくりについて
- 2 区役所での高齢者の終活相談窓口の設置について
- 3 不登校児童生徒の健康診断について
- 4 いじめ対策の強化について



令和6年9月定例会 9月18日 一般質問

- 1 公共施設の改修と今後の維持管理について
- 2 学校施設の今後のあり方について
- 3 こどもまんなかcityの実現のために
- 4 きれいなまちづくりについて

